

令和元年産農作物共済の実績（概要）について

1 水稲

(1) 引受実績

引受戸数は986千戸（対前年80.2%）、引受面積は1,178千ha（対前年82.4%）であり、引受面積の上位3県は新潟県（110千ha）、北海道（92千ha）、宮城県（61千ha）となっている。また、共済金額は817,549百万円（対前年85.3%）であり、面積引受率は76.4%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は60千戸、同面積は53千haとなっており、共済金は10,088百万円となった。

被害率は、戸数被害率が6.1%。金額被害率は1.2%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）0.7%と比べると高い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、佐賀県（34.5%）、長崎県（4.4%）、福岡県（3.0%）大分県（3.0%）、熊本県（2.5%）であり、主な被害は台風17号等に伴う風水害、ウンカ等による虫害などであった。

2 陸稲

(1) 引受実績

引受戸数は30戸（対前年53.6%）、引受面積は13ha（対前年45.5%）、共済金額は3,376千円（対前年44.2%）であり、面積引受率は1.8%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は7戸、同面積は3haとなっており、共済金は451千円となった。

被害率は、戸数被害率が23.3%。金額被害率は13.4%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）7.1%と比べると高い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは茨城県（23.0%）であり、主な被害は干害、風水害であった。

3 麦

(1) 引受実績

引受戸数は39千戸（対前年85.9%）、引受面積は235千ha（対前年88.2%）であり、引受面積の上位3県は北海道（117千ha）、福岡県（19千ha）、佐賀県（19千ha）となっている。また、共済金額は123,215百万円（対前年94.8%）であり、面積引受率は86.0%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は6千戸、同面積は24千haとなっており、共済金は1,730百万円となった。

被害率は、戸数被害率が14.8%。金額被害率は1.4%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）7.4%と比べると低い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、広島県（7.1%）、山形県（6.0%）、鳥取県（5.9%）、静岡県（5.9%）、栃木県（5.8%）であり、主な被害は土壌湿潤害、獣害、凍霜害などであった。